

はぎ 萩地区環境・衛生管理型漁港づくり推進事業

受賞機関 山口県水産部漁港漁村課
山口県萩水産事務所

はじめに

山口県の日本海側、萩市を中心とした北浦地域には離島を含めて11漁港が点在し、それを根拠地として14漁協が生計をたてていた。しかし、各漁協毎に経営する市場では漁獲の不安定、非衛生、流通の不効率等により零細な経営を余儀なくされていた。

この事業は、これらの問題の根本的な解決策として環境・衛生管理型（HACCP対応）漁港の整備による漁獲物の一元集約と「食の安全・安心」を確保した販路の拡大により、地元水産業の発展と地域の活性化を図ったものである。

事業の概要

- 全体事業期間：平成4年度～14年度
- 全体事業費：約2,899百万円
- 主な施設：埋立面積5.5ha用地造成、-5.0m岸壁260m、親水公園一式、衛生管理市場1棟、冷凍・冷蔵・製氷施設一式、直販施設1棟

事業の特徴

当埋立地に整備する施設は、岸壁・用地・公園等の漁港管理者が整備する「漁港施設」、漁協が主体となって整備する「市場施設」、漁連が整備する「製氷・冷蔵・冷凍施設」、地元商店が共同運営する「直販店」、進入路となる道路管理者の行う県道のバイパス工事等である。これら数多くの大規模な土木構造物や建築物を、一カ所に集中して建設するための工程管理や連絡調整には多大の労力と時間を要した。また、この計画の基本となる14漁協合併には、漁業者、行政等による長期にわたる粘り強い協議と説得



現在の萩漁港（中小畑地区）

が必要であった。これらの課題を関係者の連携と協力により一つずつ解決してこのプロジェクトは遂行された。なお、この14漁協は平成13年3月に合併して「山口はぎ漁業協同組合」として発足し、現在、順調な運営を続けている。

事業の効果

これら施設の整備により、魚介類の鮮度保持ならびに集荷量が増大して、当地区の水産物の販路が拡大し、一部の魚種は「山口の瀬つきアジ」「山口のアマダイ」等のブランド名を冠し、県内はもとより遠く東京・大阪方面へも出荷されている。また、地元商店14社と漁協の共同出資による直販店「道の駅・萩しーまーと」は新鮮魚介類をメインとして野菜、地ビール、レストラン等を outlet している。市価より安く、新鮮、安全で品数が豊富なため、地元民はもとより観光客にも人気があり、月平均13万人の来館者で賑わっている。

山口県のアンケート調査によると、県外観光客の訪れた観光地は「萩・萩しーまーと・笠山」が26.2%で最も多く、2位の秋芳洞・秋吉台を大きく上回っている。維新のふるさと萩市は、多くの史跡に恵まれた山口県屈指の観光地であるが、最近では観光客の減少傾向が続いていた。当施設の整備により、この地が観光コースに定着したことは非常に喜ばしいことである。

受賞賛助会員 ㈱大本組広島支店、極東工業㈱福岡支店、復建調査設計㈱山口支社



位置図